

# 筑前竹槍一揆 研究ノート

明治六年六月の大旱魃を背景に、嘉麻郡の一角に起こった農民一揆は、たちまち筑前全域へと広がり、一部は筑後地方をもまきこみつつ、一揆参加人員は三〇万人(あるいは一〇万)と言われ、福岡県庁焼打ちにまで発展する空前の大一揆となった。いわゆる筑前竹槍一揆である。

一揆はその要求の一つに「解放令」反対を掲げ、一揆の過程で被差別部落の二〇〇〇戸以上の家屋を焼き払った。「解放令」後の被差別部落民の積極的な行動が一般民衆の目に傲慢と映り、次第に発火点に達して、一気に爆発したのが竹槍一揆であった。

したがって、筑前竹槍一揆の本質的評価という意味では、「解放令」反対の要求・行動を軸として考察すべきだということになる。上杉聰氏も指摘しているように、筑前竹槍一揆ははっきりと「解放令」反対一揆として定義しなければならぬのである。

■ 主な内容 ■

筑前竹槍一揆と「解放令」

「解放令」反対一揆における民衆意識をめぐって——筑前竹槍一揆を例に

筑前竹槍一揆——「筑紫野市史」他から

——「筑前竹槍一揆と「解放令」」より抜粋

石瀧豊美著



石瀧豊美 (いしたき・とよみ) 1949年、福岡市に生まれる。大学は物理学科で、独学で歴史研究の道に入る。イシタキ人権学研究所所長、福岡地方史研究会会長、福岡県地方史研究連絡協議会(福史連)副会長。明治維新史学会、教育史学会、軍事史学会に所属。福岡県護国神社郷土史講座ほかで講師を務める。近代史、教育史、地方史、部落史を研究。主な著書=『部落史は思ったよりおいしい——石瀧豊美講演録』(イシタキ人権学研究所、2004年)、『身分としての百姓、職業としての百姓』(同、2007年)、『近代福岡の歴史と人物——異・偉人伝』(同、2009年)、『玄洋社——封印された実像』(海鳥社、2010年)。

▶好評発売中／定価1575円(本体1500円+税)

A 5判／160ページ／並製本・カバー装

## 筑前竹槍一揆研究ノート

石瀧豊美著

花乱社刊◎定価1575円(税込)

ISBN978-4-905327-17-2 C0021

■お名前

■ご住所

〒

-

電話番号



花乱社

〒810-0073 福岡市中央区舞鶴 1-6-13-405

電話 092 (781) 7550 FAX 092 (781) 7555

E-mail / info@karansha.com

\*ご注文は、お電話・FAX・Eメールにて承っております(送料無料)。お支払いは、現品到着後に同封の振込用紙にて郵便局よりお振り込みください。また、本書は全国の主要書店からもお取り寄せできます。

注文数